

2022年6月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月19日

上場会社名 サイタホールディングス株式会社
コード番号 1999 URL <https://www.saita-hd.co.jp>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 才田 善之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 平山 繁之

TEL 0946 22 3875

定時株主総会開催予定日 2022年9月28日 配当支払開始予定日 2022年9月29日

有価証券報告書提出予定日 2022年9月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年6月期の連結業績(2021年7月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期	5,955	7.4	579	14.6	798	4.0	509	6.6
2021年6月期	6,432	15.5	678	4.9	831	4.1	546	4.1

(注) 包括利益 2022年6月期 426百万円 (21.4%) 2021年6月期 542百万円 (5.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年6月期	808.86		12.5	11.2	9.7
2021年6月期	866.11		15.1	11.8	10.5

(参考) 持分法投資損益 2022年6月期 78百万円 2021年6月期 99百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年6月期	7,142	4,270	59.8	6,773.51
2021年6月期	7,081	3,881	54.8	6,156.89

(参考) 自己資本 2022年6月期 4,270百万円 2021年6月期 3,881百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年6月期	29	74	250	2,030
2021年6月期	773	293	52	2,314

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年6月期		0.00		60.00	60.00	37	6.9	1.0
2022年6月期		0.00		60.00	60.00	37	7.4	0.9
2023年6月期(予想)		0.00		60.00	60.00		12.6	

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	4.3	400	31.0	470	41.2	300	41.2	475.86

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料〇ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年6月期	661,000 株	2021年6月期	661,000 株
期末自己株式数	2022年6月期	30,588 株	2021年6月期	30,548 株
期中平均株式数	2022年6月期	630,435 株	2021年6月期	630,452 株

(参考) 個別業績の概要

2022年6月期の個別業績(2021年7月1日～2022年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期	513	8.0	275	22.4	309	32.9	162	12.0
2021年6月期	475	0.8	225	3.8	233	16.3	145	0.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期	257.91	
2021年6月期	230.27	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2022年6月期	4,073		2,015		49.5		3,197.00	
2021年6月期	4,096		1,870		45.7		2,966.58	

(参考) 自己資本 2022年6月期 2,015百万円 2021年6月期 1,870百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. 個別財務諸表及び主な注記	18
(1) 貸借対照表	18
(2) 損益計算書	20
(3) 株主資本等変動計算書	23

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により社会経済活動への制限が続く中、ワクチン接種率向上とともに制限が緩和される動きも見られましたが、新たな変異株が発生するたびに社会経済活動が制限される状態が続いております。また、ロシア・ウクライナ情勢等の地政学的リスクによるエネルギー問題や原材料価格の高騰が懸念されるなど、社会経済活動の本格回復は依然として不透明な状況となっております。

当社グループ（当社並びに連結子会社及び持分法適用会社）の主力事業であります建設業界は、新型コロナウイルス感染症による影響が比較的軽微であったこともあり、災害復興事業、インフラ関連工事等の公共投資は堅調に推移いたしました。ただし、今後も原材料価格の上昇による建設コストの高騰や建設技術者不足による労務費の高止まり等も続いておりますので、経営環境は依然として不透明な状況であります。

このような経済情勢の中で、当連結会計年度の連結業績につきましては、売上高59億5千5百万円（前連結会計年度比7.4%減）、営業利益5億7千9百万円（前連結会計年度比14.6%減）、経常利益7億9千8百万円（前連結会計年度比4.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益5億9百万円（前連結会計年度比6.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと次のとおりであります。

(建設事業部門)

建設業界は依然として厳しい環境にありますものの、全社一体となって受注活動に努めてまいりました結果、当連結会計年度の受注高は26億7千3百万円（前連結会計年度比30.5%減）となりました。

受注工事の主なものは、七隈（荒江団地）外地区下水道築造工事、桂川（復緊）護岸工事54工区、福岡ダイハツ販売株式会社新車PDIセンター新築工事等であります。

また、完成工事高は30億2千4百万円（前連結会計年度比14.8%減）となりました。

損益面では、厳しい受注競争のもと、グループ挙げて工事原価の削減に努めました結果、営業利益3億3千8百万円（前連結会計年度比17.2%減）となりました。

(砕石事業部門)

砕石事業は、新製品開発に取り組むとともに積極的な営業活動を展開してまいりました結果、当連結会計年度の売上高は22億6千8百万円（前連結会計年度比0.7%増）、営業利益は4億2千万円（前連結会計年度比8.2%減）となりました。

(酒類事業部門)

酒類事業の当連結会計年度の売上高は3億1千7百万円（前連結会計年度比31.8%増）、営業損失2千1百万円（前連結会計年度は2千8百万円の営業損失）となりました。

(その他の事業部門)

その他の事業の当連結会計年度の売上高は3億4千4百万円（前連結会計年度比11.4%減）、営業利益は4千5百万円（前連結会計年度比13.4%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は41億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2百万円増加いたしました。これは主に受取手形・完成工事未収入金等が3億8千5百万円増加したことによるものであります。固定資産は29億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千2百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が1億2千万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、71億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は24億3千万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3千2百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が1億1百万円減少したことによるものであります。固定負債は4億4千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ9千6百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1億円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、28億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億2千8百万円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は42億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8千8百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が4億7千2百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は59.8%（前連結会計年度末は54.8%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、20億3千万円（前連結会計年度比2億8千3百万円減少）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益7億8千5百万円であり、主に売上債権の増加、仕入債務の減少、法人税等の支払はありましたものの、減価償却費の計上により、2千9百万円の収入（前年同期は7億7千3百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に有形固定資産の取得による支出により、7千4百万円の支出（前年同期は2億9千3百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主に長期借入金の返済による支出により2億5千万円の支出（前年同期は5千2百万円の支出）となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期
自己資本比率 (%)	47.8	54.8	59.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	19.7	21.7	21.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	4.7	2.5	59.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	22.5	22.0	1.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しており、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、引き続き世界的な新型コロナウイルス感染症の長期化やロシア・ウクライナ情勢等の地政学的リスクによるエネルギー問題や原材料価格の高騰が懸念されており、景気の先行きは極めて不透明な状況が続くものと思われま

す。当社グループの主力事業であります建設業界におきましても、従前からの資材費や労務費等の建設コスト高騰に加え、新型コロナウイルス感染症による市場の停滞やエネルギー問題、原材料価格高騰が今後建設業界に与える影響等が不透明であり、経営環境は依然として予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このような状況を踏まえ、当社及び当社グループは、引き続き市場成長性を考慮した効率的な経営資源の配分を実施するとともに、建設事業におきましては、収益性を重視した安定的な受注を行うとともに、世代間における技能・知識の継承並びに人材育成による安定した収益の確保に努めてまいります。

碎石事業におきましては、生産効率の向上、製造原価の低減、販路拡大に努め、建設事業と連携して堅実な事業活動を進めてまいります。

酒類事業及び環境事業におきましては、グループ企業との情報共有を図るとともに営業強化による収益拡大に取り組み、業績向上に寄与するよう邁進していく所存であります。

翌連結会計年度(2023年6月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高57億円(前年同期比4.3%減)、営業利益4億円(同31.0%減)、経常利益4億7千万円(同41.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益3億円(同41.2%減)を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当連結会計年度 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,645,992	2,362,133
受取手形・完成工事未収入金等	1,188,296	1,574,181
棚卸資産	220,916	218,395
その他	41,272	44,453
流動資産合計	4,096,478	4,199,162
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	266,158	248,503
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	734,442	620,422
土地	830,159	832,729
リース資産(純額)	—	8,374
その他	6,990	6,990
有形固定資産合計	1,837,751	1,717,019
無形固定資産		
採石権	12,352	10,996
その他	2,663	2,663
無形固定資産合計	15,015	13,659
投資その他の資産		
投資有価証券	340,228	386,564
保険積立金	243,486	257,977
繰延税金資産	45,231	38,127
退職給付に係る資産	116,829	107,696
その他	447,008	482,837
貸倒引当金	△60,141	△60,922
投資その他の資産合計	1,132,643	1,212,280
固定資産合計	2,985,410	2,942,959
資産合計	7,081,889	7,142,122

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当連結会計年度 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	371,455	270,990
短期借入金	1,605,201	1,503,455
リース債務	—	2,157
未払費用	168,428	156,708
未払法人税等	130,079	67,472
未成工事受入金	224,408	224,318
工事損失引当金	100	—
賞与引当金	11,140	10,100
その他	152,143	195,701
流動負債合計	2,662,957	2,430,904
固定負債		
長期借入金	331,453	231,180
リース債務	—	7,080
繰延税金負債	7,267	8,881
退職給付に係る負債	148,412	143,785
役員退職慰労引当金	46,341	46,352
その他	3,835	3,835
固定負債合計	537,309	441,114
負債合計	3,200,267	2,872,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	942,950	942,950
資本剰余金	594,558	594,558
利益剰余金	2,420,260	2,892,366
自己株式	△35,833	△35,934
株主資本合計	3,921,935	4,393,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,441	10,499
為替換算調整勘定	△28,871	△134,336
その他の包括利益累計額合計	△40,313	△123,837
純資産合計	3,881,621	4,270,103
負債純資産合計	7,081,889	7,142,122

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
売上高		
完成工事高	3,548,613	3,024,215
兼業事業売上高	2,883,792	2,931,153
売上高合計	6,432,405	5,955,368
売上原価		
完成工事原価	2,868,170	2,435,643
兼業事業売上原価	2,063,636	2,156,662
売上原価合計	4,931,807	4,592,306
売上総利益		
完成工事総利益	680,442	588,571
兼業事業総利益	820,155	774,490
売上総利益合計	1,500,598	1,363,062
販売費及び一般管理費	822,195	783,500
営業利益	678,402	579,561
営業外収益		
受取利息	688	420
受取配当金	3,484	21,444
固定資産賃貸料	29,541	26,111
為替差益	12,066	105,575
持分法による投資利益	99,220	78,160
受取保険金	7,432	1,115
受取精算金	13,664	—
その他	12,783	13,298
営業外収益合計	178,881	246,125
営業外費用		
支払利息	16,046	15,941
貸倒引当金繰入額	—	781
支払保証料	4,134	3,765
その他	5,420	6,412
営業外費用合計	25,601	26,900
経常利益	831,682	798,786
特別利益		
固定資産売却益	15,555	8,589
投資有価証券売却益	—	9,249
特別利益合計	15,555	17,839
特別損失		
投資有価証券評価損	—	5,814
減損損失	1,879	1,989
固定資産売却損	6,298	—
役員退職慰労引当金繰入額	—	23,462
特別損失合計	8,178	31,265
税金等調整前当期純利益	839,060	785,360
法人税、住民税及び事業税	271,591	267,146
法人税等調整額	21,429	8,278
法人税等合計	293,020	275,425
当期純利益	546,039	509,935
親会社株主に帰属する当期純利益	546,039	509,935

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
当期純利益	546,039	509,935
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,792	20,548
為替換算調整勘定	△13,206	△105,464
持分法適用会社に対する持分相当額	160	1,391
その他の包括利益合計	△3,253	△83,523
包括利益	542,786	426,412
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	542,786	426,412
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	942,950	594,558	1,905,745	△35,833	3,407,420
当期変動額					
剰余金の配当			△31,524		△31,524
親会社株主に帰属する 当期純利益			546,039		546,039
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	514,514	—	514,514
当期末残高	942,950	594,558	2,420,260	△35,833	3,921,935

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△21,394	△15,665	△37,059	3,370,360
当期変動額				
剰余金の配当				△31,524
親会社株主に帰属する 当期純利益				546,039
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	9,952	△13,206	△3,253	△3,253
当期変動額合計	9,952	△13,206	△3,253	511,261
当期末残高	△11,441	△28,871	△40,313	3,881,621

当連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	942,950	594,558	2,420,260	△35,833	3,921,935
当期変動額					
剰余金の配当			△37,829		△37,829
親会社株主に帰属する 当期純利益			509,935		509,935
自己株式の取得				△101	△101
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	472,106	△101	472,004
当期末残高	942,950	594,558	2,892,366	△35,934	4,393,940

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△11,441	△28,871	△40,313	3,881,621
当期変動額				
剰余金の配当				△37,829
親会社株主に帰属する 当期純利益				509,935
自己株式の取得				△101
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	21,940	△105,464	△83,523	△83,523
当期変動額合計	21,940	△105,464	△83,523	388,481
当期末残高	10,499	△134,336	△123,837	4,270,103

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	839,060	785,360
減価償却費	293,129	232,153
立木費	3,317	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	781
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,088	△1,040
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△12,200	△100
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△32,008	2,758
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,392	11
受取利息及び受取配当金	△4,172	△21,864
支払利息	16,046	15,941
為替差損益(△は益)	△10,714	△93,869
投資有価証券評価損益(△は益)	—	5,814
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△9,249
持分法による投資損益(△は益)	△99,220	△78,160
固定資産売却損益(△は益)	△9,257	△8,589
受取保険金	△7,432	△1,115
役員退職慰労引当金繰入額	—	23,462
減損損失	1,879	1,989
売上債権の増減額(△は増加)	469,217	△385,620
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△2,399	30,259
棚卸資産の増減額(△は増加)	9,860	△6,380
仕入債務の増減額(△は減少)	△518,675	△102,193
未成工事受入金の増減額(△は減少)	76,545	△90
未払消費税等の増減額(△は減少)	22,529	△27,040
その他の資産の増減額(△は増加)	20,932	3,452
その他の負債の増減額(△は減少)	△43,497	△34,676
その他	1,500	1,500
小計	1,020,917	333,490
利息及び配当金の受取額	5,376	22,919
利息の支払額	△35,119	△15,882
法人税等の支払額	△232,797	△289,032
法人税等の還付額	7,577	—
保険金の受取額	7,432	1,115
役員退職慰労金の支払額	—	△23,462
営業活動によるキャッシュ・フロー	773,389	29,147

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△456,224	△456,227
定期預金の払戻による収入	456,215	456,225
貸付けによる支出	△5,800	△5,800
貸付金の回収による収入	3,962	8,747
投資有価証券の売却による収入	—	14,250
有形固定資産の取得による支出	△300,381	△99,458
有形固定資産の売却による収入	18,750	20,774
保険積立金の積立による支出	△9,715	△9,715
その他	△757	△2,905
投資活動によるキャッシュ・フロー	△293,951	△74,108
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,762	△101,999
長期借入れによる収入	220,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△232,992	△209,586
リース債務の返済による支出	△2,382	△1,462
自己株式の取得による支出	—	△101
配当金の支払額	△31,502	△37,724
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,640	△250,872
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,413	11,972
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	428,211	△283,861
現金及び現金同等物の期首残高	1,886,556	2,314,767
現金及び現金同等物の期末残高	2,314,767	2,030,906

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、当連結会計年度より、少額又は期間がごく短い工事を除き、履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。なお、履行義務の充足に係る進捗度の見積りは原価比例法によっております。

また、契約の初期段階を除き、履行義務の充足に係る進捗度を合理的に見積ることができないものの、発生費用の回収が見込まれる工事については、原価回収基準を適用しており、少額又は期間がごく短い工事については、工事完了時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当連結会計年度の完成工事高及び完成工事原価がそれぞれ8,688千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高へ与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、社内業績管理単位であるサービス別の事業本部を基礎とし、経済的特徴が類似している事業セグメントを集約した「建設事業」、「碎石事業」、「酒類事業」を報告セグメントとしております。

事業セグメントの内容は以下のとおりであります。

- 建設事業 : 土木・建築その他建設工事全般に関する事業
- 碎石事業 : 碎石及び砕砂の製造、販売及び運搬等に関する事業
- 酒類事業 : 酒類製造販売事業

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2 4、5	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	建設事業	碎石事業	酒類事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,548,613	2,253,484	240,866	6,042,964	389,440	6,432,405	-	6,432,405
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,250	152,733	654	159,638	43,069	202,708	△202,708	-
計	3,554,863	2,406,218	241,521	6,202,603	432,510	6,635,113	△202,708	6,432,405
セグメント利益又は 損失(△)	408,728	458,424	△28,239	838,912	52,831	891,743	△213,341	678,402
セグメント資産	1,860,728	3,513,593	130,625	5,504,947	493,094	5,998,041	1,083,847	7,081,889
その他の項目								
減価償却費(注) 6	11,150	257,945	-	269,096	21,840	290,936	5,510	296,447
減損損失	-	-	654	654	1,224	1,879	-	1,879
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	-	287,320	654	287,974	1,525	289,499	7,686	297,186

当連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2 4、5	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	3,024,215	2,268,837	317,422	5,610,474	314,919	5,925,393	-	5,925,393
その他の収益(注) 7	-	-	-	-	29,974	29,974	-	29,974
外部顧客への売上高	3,024,215	2,268,837	317,422	5,610,474	344,893	5,955,368	-	5,955,368
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,031	133,558	553	156,143	55,565	211,708	△211,708	-
計	3,046,246	2,402,395	317,976	5,766,618	400,459	6,167,077	△211,708	5,955,368
セグメント利益又は 損失(△)	338,607	420,763	△21,621	737,749	45,728	783,477	△203,916	579,561
セグメント資産	1,751,846	3,576,692	147,967	5,476,505	475,130	5,951,636	1,190,485	7,142,122
その他の項目								
減価償却費(注) 6	8,612	199,424	-	208,037	19,429	227,467	4,686	232,153
減損損失	-	-	1,989	1,989	-	1,989	-	1,989
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	2,322	90,704	1,989	95,017	4,110	99,127	25,112	124,239

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業、警備事業及び乳酸菌事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	1,854	819
全社費用※	△215,195	△204,735
合計	△213,341	△203,916

※ 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 調整額に記載されているセグメント資産の額は報告セグメントに帰属しない資産であります。
5. 調整額に記載されている減価償却費、減損損失、有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、報告セグメントに帰属しない資産について前連結会計年度及び当連結会計年度に発生した額であります。
6. 減価償却費には、長期前払費用の償却額が含まれております。
7. その他の収益29,974千円は、不動産事業の売上高であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自2020年7月1日 至2021年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
朝倉県土整備事務所	1,982,587	建設事業

当連結会計年度（自2021年7月1日 至2022年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
朝倉県土整備事務所	1,796,764	建設事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2020年7月1日 至2021年6月30日）

（単位：千円）

	建設事業	砕石事業	酒類事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	-	-	654	1,224	-	1,879

当連結会計年度（自2021年7月1日 至2022年6月30日）

（単位：千円）

	建設事業	砕石事業	酒類事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	-	-	1,989	-	-	1,989

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2020年7月1日 至2021年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2021年7月1日 至2022年6月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自2020年7月1日 至2021年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2021年7月1日 至2022年6月30日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2020年7月1日 至 2021年6月30日）	当連結会計年度 （自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）
1株当たり純資産額	6,156.89円	6,773.51円
1株当たり当期純利益	866.11円	808.86円

（注） 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2020年7月1日 至 2021年6月30日）	当連結会計年度 （自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	546,039	509,935
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	546,039	509,935
普通株式の期中平均株式数（株）	630,452	630,435

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年6月30日)	当事業年度 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	523,885	607,387
売掛金	6,181	5,568
立替金	2,761	1,303
前払費用	1,945	1,883
未収入金	278,769	235,935
関係会社短期貸付金(純額)	111,573	133,250
その他	27,883	25,276
流動資産合計	953,001	1,010,604
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,010,799	1,009,565
減価償却累計額	△838,340	△846,832
建物(純額)	172,458	162,732
構築物	485,109	485,109
減価償却累計額	△390,192	△400,679
構築物(純額)	94,917	84,430
機械及び装置	5,553,953	5,597,273
減価償却累計額	△4,910,451	△5,038,295
機械及び装置(純額)	643,502	558,978
車両運搬具	71,068	71,818
減価償却累計額	△64,493	△66,680
車両運搬具(純額)	6,575	5,137
工具器具・備品	58,859	58,501
減価償却累計額	△54,185	△55,845
工具器具・備品(純額)	4,674	2,656
土地	830,214	832,784
立木	6,990	6,990
リース資産	—	9,852
減価償却累計額	—	△1,477
リース資産(純額)	—	8,374
有形固定資産合計	1,759,332	1,662,085
無形固定資産		
採石権	12,352	10,996
電話加入権	2,469	2,469
無形固定資産合計	14,821	13,465
投資その他の資産		
投資有価証券	99,972	110,147
関係会社株式	861,823	861,823
出資金	455	455
従業員に対する長期貸付金	3,355	3,262
関係会社長期貸付金	640,275	635,923
破産更生債権等	31,889	31,889
差入保証金	210	210
保険積立金	243,486	257,977

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年6月30日)	当事業年度 (2022年6月30日)
長期前払費用	14,847	14,813
会員権	12,002	12,002
繰延税金資産	3,867	2,331
信託受益権	70,000	70,000
その他	70,381	65,906
貸倒引当金	△682,860	△679,289
投資その他の資産合計	1,369,705	1,387,452
固定資産合計	3,143,860	3,063,004
資産合計	4,096,862	4,073,608
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,350,000	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	201,236	191,923
リース債務	—	2,157
未払金	49,854	59,549
未払費用	13,999	10,909
未払法人税等	99,040	46,470
預り金	2,315	2,183
賞与引当金	888	767
流動負債合計	1,717,335	1,563,961
固定負債		
長期借入金	331,453	231,180
リース債務	—	7,080
退職給付引当金	14,807	15,516
役員退職慰労引当金	43,056	43,398
長期預り敷金	3,835	3,835
債務保証損失引当金	43,175	50,862
関係会社事業損失引当金	72,790	142,141
固定負債合計	509,118	494,014
負債合計	2,226,453	2,057,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	942,950	942,950
資本剰余金		
資本準備金	235,737	235,737
その他資本剰余金	358,820	358,820
資本剰余金合計	594,558	594,558
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	379,563	504,339
利益剰余金合計	379,563	504,339
自己株式	△35,785	△35,886
株主資本合計	1,881,286	2,005,962
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10,878	9,670
評価・換算差額等合計	△10,878	9,670
純資産合計	1,870,408	2,015,633
負債純資産合計	4,096,862	4,073,608

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当事業年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
売上高		
不動産事業収入	29,950	29,974
発電事業収入	48,018	50,774
関係会社経営管理料	297,400	282,600
関係会社受取配当金	100,000	150,000
売上高合計	475,368	513,349
売上原価		
不動産事業売上原価	13,531	16,769
発電事業原価	21,208	15,997
売上原価合計	34,739	32,767
売上総利益		
不動産事業総利益	16,419	13,204
発電事業総利益	26,810	34,776
その他の売上総利益	397,400	432,600
売上総利益合計	440,629	480,581
販売費及び一般管理費		
役員報酬	33,432	27,801
従業員給料手当	61,093	57,784
賞与引当金繰入額	888	767
役員退職慰労引当金繰入額	3,480	2,982
退職給付費用	3,681	6,389
法定福利費	16,122	15,739
福利厚生費	3,862	4,137
修繕維持費	295	2,417
事務用品費	3,227	2,444
通信交通費	8,247	6,579
水道光熱費	1,230	1,309
広告宣伝費	801	569
交際費	2,025	2,142
寄付金	1,485	2,350
減価償却費	5,510	4,686
租税公課	21,456	19,181
諸会費	2,891	2,949
保険料	3,783	3,744
事務委託費	30,646	29,954
雑費	11,033	10,804
販売費及び一般管理費合計	215,195	204,735
営業利益	225,433	275,846

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当事業年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
営業外収益		
受取利息	3,562	3,711
受取配当金	4,826	5,326
貸倒引当金戻入額	—	29,676
固定資産賃貸料	31,395	28,000
受取保険金	7,432	1,115
債務保証損失引当金戻入額	4,266	—
その他	3,014	3,006
営業外収益合計	54,499	70,836
営業外費用		
支払利息	11,552	10,632
貸倒引当金繰入額	35,111	26,104
その他	0	0
営業外費用合計	46,664	36,737
経常利益	233,268	309,946
特別利益		
固定資産売却益	15,435	8,509
投資有価証券売却益	—	4,999
特別利益合計	15,435	13,509
特別損失		
固定資産売却損	6,298	—
役員退職慰労引当金繰入額	—	8,660
投資有価証券評価損	—	5,814
債務保証損失引当金繰入額	—	7,686
関係会社事業損失引当金繰入額	24,722	69,350
特別損失合計	31,020	91,511
税引前当期純利益	217,683	231,944
法人税、住民税及び事業税	70,337	68,243
法人税等調整額	2,161	1,094
法人税等合計	72,499	69,338
当期純利益	145,184	162,606

不動産事業原価明細書

		前事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)		当事業年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
経費	※	13,531	100	16,769	100
計		13,531	100	16,769	100

(注) ※ 経費のうち主なものは次のとおりであります。

科目	前事業年度	当事業年度
修繕費	1,744千円	5,221千円
減価償却費	3,514	3,346

発電事業原価明細書

		前事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)		当事業年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
経費	※	21,208	100	15,997	100
計		21,208	100	15,997	100

(注) ※ 経費のうち主なものは次のとおりであります。

科目	前事業年度	当事業年度
租税公課	1,238千円	1,092千円
減価償却費	15,533	13,741

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	942,950	235,737	358,820	594,558	265,903	265,903	△35,785	1,767,626
当期変動額								
剰余金の配当					△31,524	△31,524		△31,524
当期純利益					145,184	145,184		145,184
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	113,660	113,660	—	113,660
当期末残高	942,950	235,737	358,820	594,558	379,563	379,563	△35,785	1,881,286

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△20,670	△20,670	1,746,956
当期変動額			
剰余金の配当			△31,524
当期純利益			145,184
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	9,792	9,792	9,792
当期変動額合計	9,792	9,792	123,452
当期末残高	△10,878	△10,878	1,870,408

当事業年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	942,950	235,737	358,820	594,558	379,563	379,563	△35,785	1,881,286
当期変動額								
剰余金の配当					△37,829	△37,829		△37,829
当期純利益					162,606	162,606		162,606
自己株式の取得							△101	△101
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	124,776	124,776	△101	124,675
当期末残高	942,950	235,737	358,820	594,558	504,339	504,339	△35,886	2,005,962

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△10,878	△10,878	1,870,408
当期変動額			
剰余金の配当			△37,829
当期純利益			162,606
自己株式の取得			△101
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	20,548	20,548	20,548
当期変動額合計	20,548	20,548	145,224
当期末残高	9,670	9,670	2,015,633